



万石山 (吉田村宇山より撮影)

吉田村民谷と宇山山坂まれた万石山(七六六m)と言われているが、異説もある。

城垣野。郡家の正南二十一里なり。紫草あり。



堀坂山か (佐田町朝原より撮影)

堀坂山。郡家の正西二十一里なり。杉・松あり。

佐田町朝原東北の山(五〇二m)とされている。神門郡との郡境だったらしい。近くには八雲風穴があり、夏は避暑客で賑わった。



鍋山 (出雲市稗原町より撮影)

三刀屋町の鍋山と考えられている。昔の鍋をひっくり返したような丸い形をしていることからついた名だ。

奈倍山。郡家の東北二十里二百歩なり。



峯寺弥山 (木次町木次より撮影)

伊我山。郡家の正北二十九里二百歩なり。三刀屋町給下の峯寺弥山(二九九m)斐伊川と三刀屋川の分岐点を見下ろす位置にあり、頂上からやや下った所に、国や県の指定文化財の絵画を持つ峯寺がある。山の頂上にある尾根には加工した段の跡が連続して見られ、注目される。高い山上にある山岳寺院は風土記時代には存在していないが、当時から信仰の対象になっていたのかもしれない。



船通山 (横田町代山より撮影)

鳥取県との境の船通山(二二四二m)八岐大蛇退治の舞台との伝承があり、頂上には石碑も立っている。ハイキングコース、登山路が整備されており、気楽に登れる山だ。ふもとには斐乃上温泉があり、親しまれている。

仁多郡 鳥取県、広島県との境の三瓶山(二〇〇四m)とされる。また三瓶(出雲・伯耆・備後)にまたがる山。しかし、鳥根県側からはなかなか見ることができない。



中央やや左寄りの山が烏帽子山 (仁多町三所より撮影)

横田町大馬木の広島県境にある烏帽子山(二二三五m)と考えられている。西の吾妻山とともに比婆道後帝釈園定公園に指定され、登山道が整備されている。頂上には巨石が点在し、初夏にはヤマツツジが美しい。

遊託山。郡家の正南三十七里なり。鹽味葛あり。



仏山 (横田町大馬木より撮影)

灰火山。郡家の東南三十里なり。横田町大馬木の仏山(二〇一〇m)と考えられる。山の北側を眺めると三角形の美しい山である。



飯石郡



御室山か (大東町薦沢より撮影)

大東町海潮南方の室谷の背後にある山(四七〇m)と言われている。大東町薦沢の坂本神社付近から南を見て、先のとがった形のいい山。木次町の室山をあてる説もある。

これら四つの山は、郡家郡の役所(の東西南北に同距離で位置している。飯石郡家は掛合町佐中付近にあったと推定される)から、この四方にある山が対峙するのだ。四方に形のいい山を見立てて郡家を配置するのは、大陸から伝来してきた思想が影響しているのかもしれない。



掛合町の盆地 (この東西南北の山をあてているのだろう)



琴引山 (頼原町小才田より撮影)

頼原町と赤来町の境の琴引山(一〇一三m)現在も石神らしい大きな岩があると言われ、頂上近くには琴弾山神社がある。尾根続きの大万木山とともに自然林が美しく、スキ場もあるため訪れる人が多い。

石穴山。郡家の正南五十八里なり。高さ五十五丈あり。幅昨山。郡家の正南五十二里なり。紫草あり。石穴山は、赤来町の三国山(七九六m)にあてられている。もはや出雲・石見・備後三国の境だったことからこの名がある。赤名の西の赤名山との説もある。出雲側から見た場合、なかなか見えない。幅昨山は、赤来町小田と広島県の県境にある。幅昨山(九〇四m)と云われている。



幅昨山か (赤来町野宮より撮影)

野見・木見・石次の三野、並びに郡家の南西四十里なり。紫草あり。



赤来町石次周辺 (赤来町上来島より撮影)

野見野は、赤来町赤名谷の山と言われている。木見野は赤来町来島川尻、特定が難しいが来島ダム湖畔の木見山(四四三m)にあてられている。来島ダムは水力発電のために一九五六年に完成したため、近くにはキャンプ場もある。石次野は、磐鉦川(赤名川)沿いの石次辺りの山である。



木見山 (赤来町来島ダムより撮影)



三瓶山 (三瓶山西の原より撮影)

佐比賣山。郡家の正西五十一里一百四十歩なり。石見と出雲との二國の堺なり。三瓶山(二二六m)の「国引き」の際に、鳥根半島西部を引く綱の「杭」になったと記された石見国境の山。もう一方の「杭」である大山と同様、トロイ型(つりがね型)の火山で美しい形を見せる。四季を通じて多くの観光客が訪れ、にぎわっている。